

# 代表質問発言通告書

発言順位 1 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 2月17日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 13 番 中村 仁



質問事項及び具体的内容
令和3年度（2021年度）施政方針について伺います。
1 第1の柱、「ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と品格あるガーデンシティのまちづくり」について
(1) ポストコロナに向けた三島市の方向性について
(2) 市内主要幹線道路の整備について
(3) 企業誘致について
(4) 移住定住対策について
(5) 公営住宅の整備について
(6) 農業を支える担い手の確保と育成について
(7) 農畜産物の更なるブランド化について
2 2つ目の柱、「新しい生活様式で進化するスマートウェルネスと一人ひとりが輝く教育・文化の推進」について
(1) GIGA スクールについて
(2) 施政方針における「文化」について
(3) 「スマートウェルネスみしまアクションプラン」の成果について
3 3つ目の柱、「絆で守る安全・安心と誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり」について
(1) 地域コミュニティの充実について
(2) 生活保護と各種の支援事業について
4 その他
(1) 『共創』と「協働」について
(2) 前年度当初予算額に比べて、33億円を超える減収と6億円程度の歳出増について
① 「稼ぐ力」について
② 補助金について
(3) スマート市役所の推進について
(4) 水道施設の適切な更新・耐震化について

# 代表質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 3年 2月 17日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 14番

川原 章寛



## 質問事項及び具体的内容

『せせらぎと緑と 活力あふれる 幸せ実感都市・三島』を目指す第5次三島市総合計画の初年度を迎える中、新型コロナウイルスの感染拡大によります難局を乗り越え、持続的な発展の下、ポストコロナを見据え、安心と希望に向けました着実な前進を図るべく、令和3年度施政方針並びに予算案に対しまして、下記の通り伺います。

### 1、つながりを力に変える 第5次 三島市総合計画の推進について

- (1) 協働から共創へ進化するまちづくりの意義及び具体的な取組について
- (2) 重点プロジェクトの位置付け及び予算配分について

### 2、将来負担の軽減に向けた持続可能な財政経営について

- (1) 市債残高の削減及び自主財源比率65%に向けた取組について
- (2) スマート市役所の推進による市民サービス及び業務効率の向上について

### 3、持続的な発展に向けた稼ぐ政策の推進について

- (1) 既存企業の不況脱却・V字回復に向けた支援の強化及び企業誘致等の推進について
- (2) 観光振興及び三島駅南口再開発の推進について

### 4、生産年齢人口の減少緩和に向けた保つ政策の推進について

- (1) ポストコロナにおける移住・定住の促進について
- (2) 地域社会全体で子どもを育む環境の整備について

### 5、誰もが安心・安全に暮らせる地域社会の構築に向けて

- (1) 地域包括ケアシステムの推進に向けた施設及び体制の整備について
- (2) 公共交通の維持及び利便性向上に向けた支援の強化について

### 6、未来を担う子ども達の健全育成に向けて

- (1) 教職員の多忙化解消に向けた取組の強化について
- (2) GIGAスクールの推進及び老朽化等に伴う教育環境の整備について

以上

# 代表質問発言通告書

発言順位 3 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 2月17日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 19番 鈴木 文子



## 質問事項及び具体的内容

令和3年度政策方針及び、「ポストコロナを見据え市民の安心と希望に向けた着実前進型予算」と名付けられた令和3年度予算案に関連して下記の通り伺う。

### 1、予算編成と財政運営について

- (1) 「ポストコロナを見据え市民の安心と希望に向けた着実前進型予算」の着実前進型の主な内容を伺う。
- (2) 予算編成にあたり要求額に対しどのような均衡を図ったのか、また令和3年度は事業の優先順位を、どの分野に比重を置いたのか伺う。
- (3) コロナの影響がなかった令和元年度補助金助成制度一覧表にそって事業の評価結果を踏まえた令和3年度の補助件数等の推移について伺う。
- (4) 公共施設マネジメントの推進及び、未利用資産活用の推進について伺う。

### 2、【ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と品格あるガーデンシティのまちづくり】

- (1) 企業誘致の推進及び、既存企業への支援の取り組みについて
- (2) 移住定住の促進や人口維持への取り組みについて
- (3) 三島駅南口東街区再開発事業に関し、これまでの経過及び、今後の取り組みについて

### 3、【新しい生活様式で進化するスマートウェルネスと一人ひとりが輝く教育・文化の推進】

- (1) コロナ感染症予防及び、感染症予防事業について
- (2) 学校における ICT 教育環境の整備について
- (3) 子どもを持ちたい人が、安心して産み育てられる環境の整備について

### 4、【絆で守る安全・安心と誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり】

- (1) 生活困窮者自立支援事業のこれまでの実績と今後の取り組みについて
- (2) 防災・減災体制の強化と人材育成の取り組みについて

### 5、【計画の推進】

- (1) 公共交通の確保や維持及び利用促進の取り組みについて
- (2) スマート市役所推進事業の昨年度の実績を踏まえ、今後の取り組みについて

# 代表質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年2月17日

三島市議会議員 大房 正 治 様

三島市議会議員 6 番 古 長 谷 稔



## 質問事項及び具体的内容

コロナ禍で社会が一変した。人と人が会って話しをするという、これまで当たり前だった活動が制限される中、三島市で積み上げてきた「地域のきずな」が危ぶまれている。より一層深刻になりつつある少子高齢化、人口減少の時代背景のもと、コロナ禍を機に経済活動が停滞し、雇用が不安定になり、生活が立ちいかなくなる人が急増している。市制80周年の節目の年でもあり、第5次総合計画の初年度として、税収としては大幅な減収が見込まれる中で、「困難を乗り越え、持続的発展に向け着実に歩みを進めていく」として打ち出された、令和3年度施政方針及び予算案について、下記の通り伺う。

### 1. ピンチはチャンス、コロナ禍による厳しい現状の中にチャンスを見出すことができるか

- (1) 財政調整基金を取り崩し、投資的経費が昨年度比31%減の財政に対する危機意識は。
- (2) 着実前進型予算において、しなやかな回復のツボはどこか。ポストコロナを見据え、市民の安心と希望に向けて財政を立て直していく、今年度の取り組みと、将来展望は。
- (3) 「共創」に向けた庁内組織改編と、市民参画に向けた自治会など地域との相談姿勢は。
- (4) 老朽化した市庁舎の更新を含めて、ウィズコロナの時代と捉え、スマート市役所化、デジタル化を見据えた上で、ファシリティマネジメントに今年度どう取り組むか。
- (5) 第5次総合計画案の中に、ピンチをチャンスに置き換えられる新たな視点はあるか。

### 2. 第1の柱「ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と品格あるガーデンシティのまちづくり」に関して

- (1) 都市から地方へ移住・定住の政策の変化、定住人口増加のチャンスはどう生かすか。
- (2) 大通りの相次ぐ銀行撤退と空洞化を踏まえ、新たな市街地活性化策で何を指すか。
- (3) 三島駅南口東街区再開発を、ポストコロナの活性化の拠点にするための取り組みは。

### 3. 第2の柱「新しい生活様式で進化するスマートウェルネスと一人ひとりが輝く教育・文化の推進」に関して

- (1) コロナ対策のワクチン接種について、副反応の不安を払拭し接種率をどう高めるか。
- (2) GIGAスクール構想の本格導入初年度として、対内、対外に目指すことは何か。
- (3) 密を避け、夜出歩かず朝散歩する。健康志向を回遊性ある街づくりと繋がられないか。

### 4. 第3の柱「絆で守る安全・安心と誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり」に関して

- (1) コミュニティが急速に失われつつある、「地域の絆」の再構築に向けた取り組みは。
- (2) 子どもの貧困、子育ての孤立化など、子育て環境を地域社会全体でどう支援できるか。
- (3) 2040年問題を見据えて、高齢者を地域で支える地域共生社会をどう築くか。

### 5. やるべきことを粛々とやり続けることがとても大切

- (1) 東日本大震災から10年、危機に備える防災・減災の取り組み成果と今後の視点は。



# 代表質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 2月 17日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 9番 服部 正平



## 質問事項及び具体的内容

国内全土を覆った「新型コロナウイルス感染症」は、本市にも多大なる影響を及ぼしました。

第1波から第3波と時を追うごとに猛威を振るい拡大の一途をたどり、そのことによる市民の暮らし、地域経済は多大な影響を受けています。

第3波感染がここにきて沈静化の兆しを見せてはいます。次の波を起こさせないための措置、更に「暮らし、生業」を立て直していく事となる令和3年度を、三島市の施政方針では『レジリエンス』という言葉を用い、SDG sも視野に入れたまちづくりを推進すると述べられています。それらを受け「今」すべきこと、今後に向け取り組まれる施策について伺ってまいります。

### 1. 感染拡大防止に向けた市民の「いのちと暮らし」と地域経済を守る具体的対策について

- (1) コロナ禍を収束させる切り札とされる「ワクチン接種」への認識について
- (2) 歳入における減収に対する評価および、歳出の優先順位について
- (3) 市民の暮らし（とりわけ困窮を極める市民）に寄り添う施策について
- (4) 地域経済を支える事業者支援としての市内事業者・創業者支援の具体策について

### 2. 第5次三島市総合計画（「SDG s」に連動した施策）について

- (1) 現状の経済状況を踏まえた三島駅南口東街区再開発事業の在り方について
- (2) 三ツ谷工業団地における課題と今後の産業用地について
- (3) ごみ減量に向けた施設、広域的な在り方について
- (4) スマート市役所の進化（RPA拡大、テレワーク）について
- (5) 恒久平和について